

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

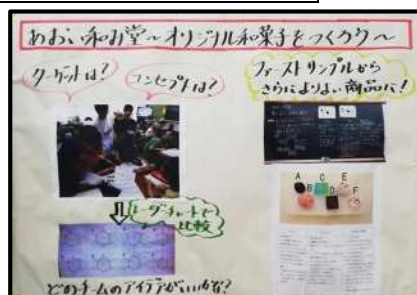
事業実施報告書



- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立葵小学校 】

1 実践テーマ	IV
2 実施対象者 (学年・人数)	6年 2クラス 68名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他(総合的な学習の時間「あおい探究」) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	「あおい和み堂プロジェクト」 ・和みの時間の大切さに気付くと共に、和菓子の素晴らしさを実感し、表現する。 ・和菓子職人さんやモノづくりに携わる人々の思いに気付けるようにする。 ・友だちと協力して課題に向かい、自分の思いを工夫して表現する。 ・伝統文化の素晴らしさに気付くと共に、多文化への理解、多様性を尊重しようとする態度を育てる。
5 取組内容	<p>今年度の総合について考えよう(2H)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の学習をふり返り、今年度の学習について考える。 お世話になった和菓子屋さんの困りを知り、自分たちにできることを考える。 <p>自分たちに何ができるか考えよう(4H)</p> <ul style="list-style-type: none"> お話を聞く中で依頼主のニーズについて考える。 自分たちが伝えたいことをどのように表現するかについて話し合う。 <p>あおい和み堂～オリジナルの和菓子をつくろう～(12H)</p> <ul style="list-style-type: none"> 和菓子のデザインを提案し、アドバイスをもらう。 デザインを見直し、再提案する。 自分たちの伝えたい思いや完成品の見た目や味を踏まえて、商品パッケージを考える。



	<p>あおい和み堂～販売戦略会議～（12H）</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品について知ってもらうためのアピール計画を立てる。 専門家からのアドバイスを聞き、アピール計画を修正する。   <p>あおい和み堂～アピールプロジェクト～（5H）</p> <ul style="list-style-type: none"> アピール計画を実行し販売する。 販売の結果や和菓子屋さんからのお話を聞き、学習をふり返る。
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度からの学習をより発展させ、今回は自分たちのオリジナル和菓子販売することで、和菓子の魅力をより一層深く味わうことができた。 職人さんや、ゲストティーチャーとの関わりを通して、伝統文化やモノづくりを受け継ぎ、発展させることへの情熱や思いに気付くことができた。 チームごとに課題を設定し、プロジェクト化した学習を進めることで、チームへの所属意識を高め、人間関係力や自己評価力を高めることができた。 商品開発、アピールプロジェクトを進める際に、ターゲットとしてオリンピック観光客に焦点を当てることで、多文化への理解や自身の文化について互いに尊重し合おうとする意識を高めることができた。
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2年計画で事業を進めることで、一つ一つを丁寧に、より深い学びへと発展させることができた。 実際の職人の方や宣伝活動のプロにゲストティーチャーとして協力いただくことで、本物と出会い、感動や驚きを与えられる、子どもたちの内発的動機に働きかける取組とした。 海外からの観光客をお客さんのターゲットの一つとして取り上げることで、より広い視野での学びを展開できるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 京都市内の老舗和菓子屋さんにご協力をいただいたが、全面的にご協力していただくことができたが、毎年の取組となると、予算面や時間の配分など、難しいところがある。 事前準備や打ち合わせ、日程調整など、担任の仕事が煩雑であった。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今回の事業を通して、企業やゲストティーチャーと学校をつなぐことができた。今回のつながりを大切に、今後も学校単体ではできない価値のある学習活動を展開・発展させていきたい。